

静岡県東部地域企業経営動向調査

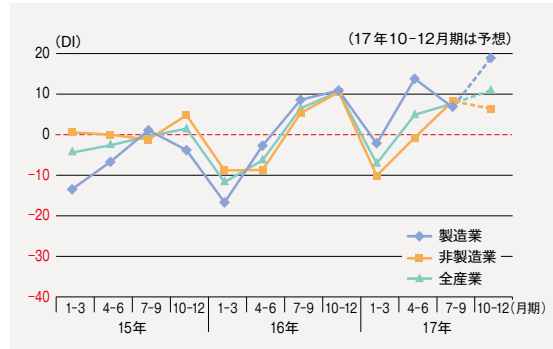
(2017年7-9月期実績、2017年10-12月期見通し)

1 業況概要(自社)

製造業では低下に転じる、非製造業では上昇が続く

静岡県東部地域における2017年7-9月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で7.7(前期4.9)と2期連続での上昇となった。製造業は、パルプ・紙・紙加工品と食料品でDIが大幅に低下したことから、全体では6.7(前期13.8)と低下に転じた。一方、非製造業では、旅館・その他宿泊所や建設業など各業種でDIの改善が進み、全体でも8.3(前期-0.7)と前期に続き上昇した。

2017年10-12月期の予想DI(今期比)は全産業で10.9と上昇が見込まれている。業種別では製造業で18.9、非製造業では6.4となっている。

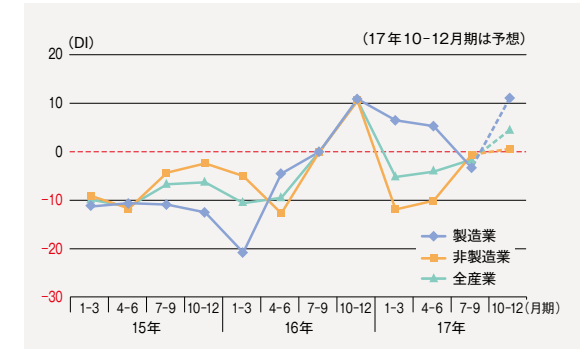


3 利益動向

製造業はマイナス水準に、非製造業は上昇続く

2017年7-9月期の全産業の利益動向DI(対前期比)は-1.6(前期-4.1)と2期連続で改善となった。製造業では、パルプ・紙・紙加工品と食料品でDIが大幅に低下した影響が大きく、全体では-3.3とマイナス水準に転じている。一方、非製造業では、旅館・その他宿泊所でDIが大幅に改善し、建設業でも上昇したため、全体では-0.6と上昇が続いている。

2017年10-12月期の予想DI(今期比)は、全産業で4.5と上昇が予想されている。業種別では製造業で11.1、非製造業で0.6となっている。



業種別天気図



(2017年4-6月期と7-9月期は前期比、10-12月期は今期比予想)

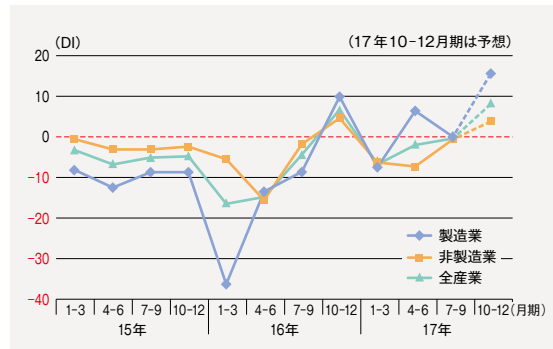
| | 製造業 | 食料品 | パルプ・紙・紙加工品 | 一般機械器具 | 非製造業 | 卸・小売・サービス業 | 旅館・その他宿泊所 | 建設業 |
|--------------|-----|-----|------------|--------|------|------------|-----------|-----|
| 2017年4-6月期 | ☀️ | ☀️ | ☀️ | ☁️ | ☁️ | ☁️ | ☁️ | ☁️ |
| 2017年7-9月期 | ☁️ | ☀️ | ☁️ | ☁️ | ☁️ | ☁️ | ☀️ | ☀️ |
| 2017年10-12月期 | ☀️ | ☁️ | ☀️ | ☀️ | ☁️ | ☁️ | ☁️ | ☀️ |

2 売上動向

製造業は低下、非製造業は上昇

2017年7-9月期の全産業の売上動向DI(対前期比)は、-0.4(前期-2.0)と2期連続での上昇となった。製造業は、食料品、パルプ・紙・紙加工品の大幅な低下により、全体では0.0となった。一方、非製造業では、その他小売・サービス業でわずかにDIが低下したが、旅館・その他宿泊所や建設業で上昇したため、全体のDIは-0.6と上昇に転じた。

2017年10-12月期の予想DI(今期比)は、全産業で8.1と上昇を予想している。業種別では製造業が15.6、非製造業も3.8となっている。



4 経営上の問題点

従業員関連の項目が引続き上位を占める傾向

前期回答割合が低下した「受注・売上の停滞・減少」が上昇し、2期ぶりに回答割合が最も高くなった。ただし、その他では「人材の育成」「求人難」「従業員

の高齢化」「人件費の増加」など従業員関連の項目が引続き上位を占める傾向にあり、特に「求人難」「人件費の増加」の順位が上昇している。

(単位:社、%)

| | 17年1-3月期 | | 17年4-6月期 | | 17年7-9月期 | | 順位変動 |
|------------------|----------|------|----------|------|----------|------|------|
| | 企業 | 比率 | 企業 | 比率 | 企業 | 比率 | |
| 1. 受注・売上の停滞・減少 | 121 | 48.0 | 99 | 40.6 | 110 | 44.5 | ↑ |
| 2. 人材の育成 | 117 | 46.4 | 109 | 44.7 | 108 | 43.7 | ↓ |
| 3. 求人難 | 88 | 34.9 | 75 | 30.7 | 86 | 34.8 | ↑ |
| 4. 従業員の高齢化 | 96 | 38.1 | 101 | 41.4 | 79 | 32.0 | ↓ |
| 5. 過当競争・製品安 | 63 | 25.0 | 58 | 23.8 | 67 | 27.1 | → |
| 6. 人件費の増加 | 48 | 19.0 | 51 | 20.9 | 53 | 21.5 | ↑ |
| 7. 生産・販売能力の不足 | 57 | 22.6 | 52 | 21.3 | 51 | 20.6 | → |
| 8. 原材料・仕入商品の値上がり | 49 | 19.4 | 55 | 22.5 | 46 | 18.6 | ↓ |

調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業 417社 回答数247(回答率59.2%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2017年7-9月期 見通し:2017年10-12月期
5. 調査時点 2017年8-9月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

その他、今回は人手不足、人材不足の問題についても調査をしています。調査結果は弊社ウェブサイト(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。